

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会平成 24 年度 事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

1. 地域子育て支援拠点研修事業

委託金額：7,000,000 円

- 主催：財団法人こども未来財団・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会
- 後援：厚生労働省・全国社会福祉協議会・各開催地市町村など
- 総参加人数：全国7か所で 1,108 名

【開催趣旨】

平成 19 年度より、つどいの広場事業、地域子育て支援センター事業を統合し、児童館などのスペースも活用しながら、地域子育て支援拠点事業(ひろば型、センター型、児童館型)が新たに再編された。そこで、行政とともに地域における子育て支援拠点間のネットワークを図りながら、子育てひろばの意義と役割を検証すると共にひろばスタッフ一人ひとりが日頃の活動を振り返り、見識を深め、スキルアップに寄与することを目的とした。

開催	日程・会場	後援	参加人数内訳	協力団体
香川	●平成 24 年 7 月 21 日(土) ◆香川大学	香川県・高松市・香川大学教育学部	179 名(男性 18 名、女性 161 名) 行政 38 名、NPO・任意団体 74 名 他団体/企業 38 名、その他 29 名	NPO 法人わははネット
東北	●平成 24 年 10 月 8 日(月・祝) ◆東京エレクトロンホール宮城	宮城県・仙台市	113 名(男性 14 名、女性 99 名) 行政 21 名、NPO・任意団体 66 名 他団体/企業 10 名、その他 16 名	NPO 法人せんたいファミリーサポート・ネットワーク
滋賀	●平成 24 年 10 月 28 日(日) ◆滋賀県男女共同参画センターG-NET しが	滋賀県・近江八幡市・滋賀県社会福祉協議会	158 名(男性 16 名、女性 142 名) 行政 75 名 NPO・任意団体 48 名 他団体/企業 16 名 その他 19 名	滋賀子育てネットワーク
千葉	●平成 24 年 12 月 1 日(土) ◆松戸商工会議所	千葉県・松戸市	161 名(男性 12 名、女性 149 名) 行政 39 名、NPO/任意団体 84 名 他団体/企業 14 名、その他 24 名	NPO 法人松戸子育てさぽーとハーモニー
佐賀	●平成 24 年 12 月 9 日(日) ◆佐賀女子短期大学	佐賀県・佐賀市・佐賀市教育委員会・佐賀県社会福祉協議会・佐賀市社会福祉協議会・佐賀女子短期大学	209 名(男性 21 名、女性 188 名) 行政 75 名、NPO・任意団体 25 名 他団体/企業 79 名、その他 30 名	佐賀開催実行委員会

中堅支援者向け研修

*対象者：地域子育て支援拠点の責任者および施設長または、場を持つ子育て支援に 3 年以上の経験があるスタッフ

東京	●平成 24 年 10 月 21 日(日) ◆東京ウィメンズプラザ	東京都・子育て応援とうきょう会議	154 名(男性 6 名、女性 148 名) 行政 36 名、NPO/任意団体 95 名 他団体/企業 18 名、その他 5 名	ゆったりーの運営委員会
大阪	●平成 25 年 1 月 26 日(土) ◆関西大学	大阪府・大阪市・堺市・関西大学	134 名(男性 8 名、女性 126 名) 行政 40 名、NPO/任意団体 67 名 他団体/企業 16 名、その他 11 名	NPO 法人ふらっとスペース金剛

2. 住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」助成事業

助成金額：7,000,000 円

(1) 「子育て支援コーディネーターの役割と位置づけ」調査研究

【子育て支援コーディネーター調査研究委員会】(五十音順・敬称略)

◆委員長 柏女靈峰(淑徳大学総合福祉学部 教授)

◆主任委員 橋本真紀(関西学院大学教育学部 准教授)

◆委員

岡本聰子(NPO 法人ふらっとスペース金剛 代表理事・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事)

奥山千鶴子(NPO 法人びーのびーの 理事長・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長)

金山美和子(長野県短期大学幼児教育学科 専任講師)

坂本純子(NPO 法人新座子育てネットワーク 代表理事・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 副理事長)

新澤拓治(社会福祉法人雲柱社 施設長)

野口比呂美(NPO 法人やまがた育児サークルランド 代表・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 副理事長)

松田妙子(NPO 法人せたがや子育てネット 代表理事・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事)

渡辺顕一郎(日本福祉大学こども発達学部 教授)

【研究の目的】

本研究の目的は、子育て支援コーディネーターに求められる役割、及び、役割を支える要件を整理し提案することにある。本研究では、図 2-1 に示すように 3 つの調査研究を実施した。研究 1 と 2 においては、既存の子育て支援関連や他領域におけるコーディネーター事業の目的や事業内容、課題を把握し、それらの結果から、福祉領域におけるコーディネーターに求められる役割とそれを支える要件を検討した。研究 3 では、地域子育て支援拠点事業において独自事業として展開されているコーディネーター事業への調査を実施し、その結果を研究 1、2 で得られた役割とそれを支える要件に関する視座から分析した。研究 1、2、3 の結果を踏まえ、地域子育て支援拠点事業に配置される「子育て支援コーディネーター」の役割とそれを支える要件を提案する。

●研究 1 「既存の子育て支援関連のコーディネーターの役割と課題」の研究目的

ヒアリング調査、文献調査を実施し、既存の子育て支援関連のコーディネーターの役割と課題を把握した。子育て支援コーディネーターが新たに創設されるならば、既存のソーシャルワーカーやコーディネーター等との役割の重複を避けるために、対象、役割範囲等を想定しておく必要がある。また、先駆的事業のコーディネーターの役割を把握することは、本研究の手がかりとなると考えられる。そこで、都道府県、市町村事業等が 独自に実施する子ども・子育て支援領域における「コーディネーター」の役割と課題を把握し、子育て支援コーディネーターの役割検討の参考とした。

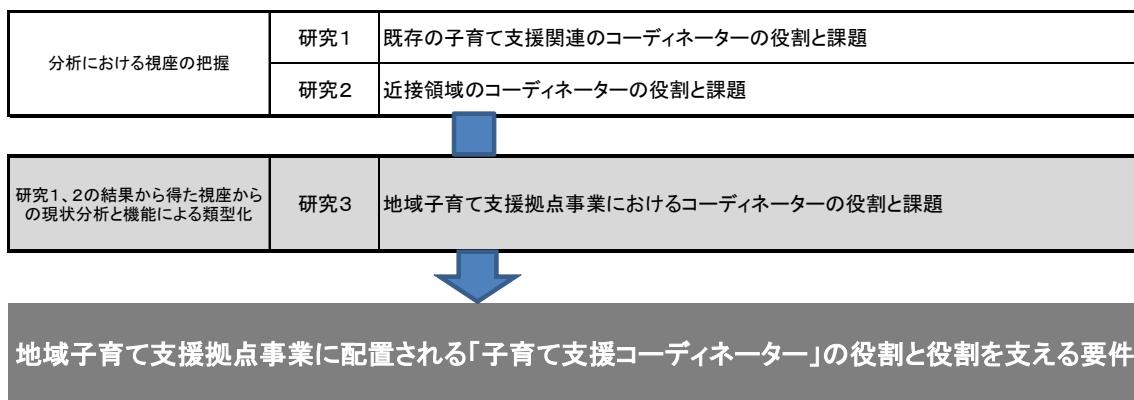
●研究 2 「近接領域のコーディネーターの役割と課題」の研究目的

近接領域においては、介護保険のケアマネジャー、ボランティアコーディネーター等、既に実績を有するコーディネーターが役割を果たしている。一方で、当事者側に立つか援助者側に立つかにより、役割が異なるソーシャルワークとケアマネジメントでは、アセスメント(コーディネート)の視点・方法が異なるコーディネーターの位置づけにより、役割性が異なる等の課題も把握されている。そこで、近接領域のコーディネーターの役割と課題をヒアリング調査により把握し、子育て支援コーディネーターの役割検討の参考とした。

●研究 3 「地域子育て支援拠点事業におけるコーディネーターの役割と課題」の研究目的

厚生労働省が示す利用支援のイメージにおいては、子育て支援コーディネーターが地域子育て支援拠点に配置されることも想定されている。そこで地域子育て支援拠点事業が担うコーディネーターの役割を先駆的事例より把握し、子育て支援コーディネーターの役割検討の上で参考とした。

※図 2-1 本研究の構成と段階



●平成 24 年度 子育て支援コーディネーター調査研究委員会日程一覧

		日程	議事
事前打ち合わせ		5月 9日 (水)	調査研究方向性検討
先行研究に関するヒアリング		5月 20日 (日)	「ソーシャルワークとしての『子育て支援総合コーディネート』実践モデルの開発的研究」について 講師：関西学院大学人間福祉学部教授 芝野松次郎先生
全体会	第1回	5月 13日 (日)	調査委員会の設置 調査計画策定検討
	第2回	9月 9日 (日)	調査計画策定 ヒアリング調査の結果検討
	第3回	11月 25日 (日)	ヒアリング調査の結果検討 報告書内容検討
	第4回	1月 13日 (日)	報告書内容検討
作業部会	第1回	7月 15日 (日)	ヒアリング内容検討 コーディネーターの方向性について検討
	第2回	8月 31日 (金)	ヒアリング内容検討 コーディネーターの方向性について検討
	第3回	11月 3日 (土)	研究3ヒアリング報告 報告書内容検討

【研究の日程と方法と対象】

●研究 1 既存の子育て支援関連のコーディネーターの役割と課題

日程：平成 24 年 6 月

方法：ヒアリング調査

対象：子育て総合コーディネーター事業のコーディネーター等

●研究 2 近接領域のコーディネーターの役割と課題

日程：平成 24 年 6 月～8 月

方法：ヒアリング調査

対象：包括支援センター等、近接領域の施設におけるコーディネーター

(名称は異なるが実質コーディネーター業務を担う従事者、関係者を含む)

●研究 3 地域子育て支援拠点事業におけるコーディネーターの役割と課題

日程：平成 24 年 9 月～10 月

方法：ヒアリング調査

対象：地域子育て支援拠点事業でコーディネーターの役割を果たしている拠点従事者

	都道府県名	ヒアリング対象とした活動	ヒアリング対象者
研究1	千葉県	子育て支援ケアプラン事業	子育てケアマネジャー
	埼玉県	子育て支援総合コーディネート事業	子育て支援総合コーディネーター
	石川県	マイ保育園登録事業	子育て支援コーディネーター
	香川県	子育て支援総合コーディネート事業	子育て支援総合コーディネーター
	愛知県	子育て支援コーディネート事業	子育てコーディネーター
	神奈川県	保育コンシェルジュ事業	保育コンシェルジュ
研究2	宮城県	児童館	館長
	東京都	子ども家庭支援センター	センター長
	東京都	子ども家庭支援センター	センター長
	東京都	介護予防事業(地域支援事業)	主任介護支援専門員
	岡山県	地域保健事業	保健師
	神奈川県	パーソナル・サポート・サービス事業	チーフ・パーソナル・サポート
研究3	神奈川県	地域活動交流事業	地域活動交流コーディネーター
	新潟県	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)	
	大阪府	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)	
	富山県	地域子育て支援拠点事業(センター型)	
	埼玉県	地域子育て支援拠点事業(センター型)	
	神奈川県	地域子育て支援拠点事業(センター型)	
	石川県	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)	
	東京都	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)	
	岡山県	地域子育て支援拠点事業(センター型)	
	山形県	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)	

- 「子育て支援コーディネーターの役割と位置づけ」報告書作成
納品：平成25年3月末 100部

- 「子育て支援コーディネーターの役割と位置づけ」報告書概要版作成
納品：平成25年3月末 2,500部(発送：会員団体ほか)

(2) 会議ファシリテーター講座

- 日時・会場：平成24年9月1日(土) 13:30～16:00 新横浜加瀬ビル
- 講師：釘山健一氏 会議ファシリテーター普及協会(MFA) 代表
- 参加者：ひろば全協理事、事務局

これまでのひろばコンサルテーションの進め方については、講師個人の技術によるところが大きかった。今後、より効果的にコンサルテーションを行い、新たなひろばコンサルテーション事業の開発を目指すために、会議ファシリテーターに精通した釘山健一氏から、会議やコンサルテーションを進める上での手法、見直した方がよい点をワークを交えながら学んだ。その後行ったひろばコンサルテーションで、担当者が今回学んだ手法や視点を取り入れたところ、課題の抽出やメンバー内の共有を行う際に、短時間で効果的に活用できたとの報告が上がった。

(3) ファシリテーター振り返りミーティング

今年度の基礎研修・応用研修後の振り返りで出た課題を共有し、見直したほうが良い点を検討。ファシリテーターである参加者の実践経験に合わせた研修・ワークの進め方（落としどころ）・事前打ち合わせ方法・振り返り方法・最新プログラムの確認を行った。また、近隣の子育て支援センター・ひろばを視察見学して、関係者と情報交換を行った。

* ファシリテーター：基礎研修や応用研修のグループワークの進行を務める。

●西日本（五十音順・敬称略）

- ・日時・会場：平成 24 年 10 月 16 日（火）13：30～15：30 アクティ奈良
- ・講師：奥山千鶴子
- ・参加者：岡本聰子・草薙めぐみ・迫きよみ・佐坂美香・松田妙子

●東日本（五十音順・敬称略）

- ・日時・会場：平成 25 年 3 月 15 日（金）10：30～12：30 横浜市開港記念会館
- ・講師：渡辺顕一郎
- ・参加者：石田尚美・稻葉文子・小磯厚子・富田愛・中條美奈子・西美智子・原美紀・晴山園世・林恵子・横田美和子

(4) ひろばコンサルテーション事業（会員向け）

会員団体のひろばの課題にそって、ひろば全協の理事・研修担当がコンサルテーションを行った。参加者は、日頃気づきにくい視点や他のスタッフの考え方を知ることができた。

●実施の際のポイント：

- ・スタッフの学びあいの場をつくる。
- ・ひろば運営の悩み・課題解決のヒントを提供する。
- ・参加者の主体性を大切にする。
- ・ひろばの実践の場を活用しながら実施する。

●実施時期：平成 24 年 7 月～平成 24 年 10 月

●団体数：10 団体

●講師：ひろば全協理事・ひろば全協協力アドバイザー

●費用：団体は、講師謝金の一部として 15,000 円を負担

日程	担当者	登録会員名	ひろば名	所在地	参加人数
7/27(金)	岡本	ポラリス (交野市子ども家庭サポーターの会)	交野市つどいの広場事業 子育て交流スペース「ぼらりすひろば」	大阪府交野市	11名
8/3(金)	中橋	四国中央市福祉保健部こども課	四国中央市子育て支援センター	愛媛県四国中央市	3名
9/3(月)	松田	(社福)雲柱社 江東区深川北子ども家庭支援センター	江東区深川北子ども家庭支援センター	東京都江東区	6名
9/12(水)	山田	青森市新町商店街振興組合	青森市つどいの広場「さんぽば」	青森県青森市	12名
9/14(金)	安田	大阪いづみ市民生活協同組合	つどいの広場「ひだまり」	大阪府堺市	11名
9/24(月)	安田	NPO法人子育てネットワーク志賀うりぼう	木戸つどいの広場にじっこ	滋賀県大津市	16名
10/1(月)	中條	NPO法人ワーカーズコープ 新潟市東区プラザわいわいひろば	東区プラザフリースペースわいわいひろば	新潟県新潟市	8名
10/5(金)	中橋	倉敷市立短期大学子育てカレッジ	倉短ひろば「くららっこ」	岡山県倉敷市	8名
10/14(日)	奥山	つくば市子育て総合支援センター	けやき広場	茨城県つくば市	14名
10/25(木)	坂本	高松・絆ねっとハイジ	ハイジの森	香川県高松市	8名

(5) 自治体向け研修事業の広報パンフレット作成

地域子育て支援拠点従事者のための基礎研修・応用研修のプログラムを自治体等に積極的に紹介するためのパンフレットを制作。全国各地の市・町に発送した。

3. リーダー研修 (ひろば全協主催事業)

ひろば活動を行っている団体の運営やリーダー育成に特化した研修の機会とした。組織経営、人材育成、資金調達、会議・研修の持ち方、会計・税務などについて共に学び合った。ひろば全協の理事でもある団体リーダーがファシリテーターを務めた。

- 日時：平成24年7月7日（土）13:00開始・7月8日（日）12:00終了
- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟
- 参加費：28,000円（税・サ込 1泊2日2食付）
- 参加者：31名

4. 地域子育て支援拠点従事者のための研修事業

自治体主催の研修事業として、地域子育て支援拠点の職員を対象とした基礎研修、応用研修、講義型研修を実施した。

(敬称略)

主催者	開催都市	研修内容	講師	ファシリテーター	人数	グループ数	1日目	2日目	会場
東近江市	滋賀県 東近江市	基礎研修 2日型	渡辺	石井・林・丹羽	21名	3G	6月2日(土) 10:00~16:30	6月25日(月) 13:30~16:30	湖東コミュニティセンター 大会議室
町田市	東京都 町田市	基礎研修 2日型	奥山	松田・西・稻葉	18名	3G	6月28日(木) 10:00~16:30	7月26日(木) 13:30~16:30	①町田市民文学館 大会議室 ②町田市役所 2-1会議室
飯田市	長野県 飯田市	応用研修 2日型	渡辺	奥山・松田・安田・ 林・石井	28名	5G	7月2日(月) 10:00~16:30	8月6日(月) 13:30~16:30	①飯田市鼎公民館研修室 ②飯田市伊賀良公民館
奈良市	奈良県 奈良市	基礎研修 2日型	奥山	岡本(聰)・迫・佐坂	20名	3G	9月12日(水) 10:00~16:30	10月16日(火) 10:00~12:30	奈良市役所会議室
浜松市	静岡県 浜松市	応用研修 1日型	渡辺	石田・晴山・林・安田	17名	4G	10月25日(木) 10:00~16:30	—	浜松市子育て情報センター
山形県	山形県 山形市	応用研修 1日型	渡辺	高橋・富田・野口・ 山田	21名	4G	11月12日(月) 10:00~16:30	—	山形市男女協働参画センター
横浜市	神奈川県 横浜市	基礎研修 2日型	新澤	青砥・石川・神田・ 神田・原・晴山・奥山	42名	7G	6月27日(水) 10:00~16:30	7月30日(月) 13:30~16:30	横浜市開港記念会館
		応用研修 2日型	渡辺	石田・富田・西・中 條・原・晴山・横田	34名	7G	2月15日(金) 10:00~16:30	3月15日(金) 13:30~16:30	横浜市開港記念会館
相模原市	神奈川県 相模原市	基礎研修 2日型	原	石川・西・小笠原・横 田・木村・稻葉・鈴木	41名	7G	11月14日(水) 9:30~16:00	12月11日(火) 9:30~12:00	相模原市立大野北公民館
		講義型	奥山	—	80名	—	6月21日(木) 9:30~12:00	—	相模原市消防指令センター 講堂
神奈川県	神奈川県内	派遣型研修 (パワーアップ研修)	奥山 坂本 松田	—	120名	—	平成24年10月~平成25年1月	神奈川県内12か所の センター・ひろば	
杉並区	東京都 杉並区	講義型	金山 汐見	松田	17名	—	3月12日(火) 13:30~16:00	3月18日(月) 10:00~16:00	杉並区役所分庁舎会議室

5. 年賀寄附金配分事業 事業名「私の3. 11～乳幼児家庭の震災の記録集制作事業～」

助成金額：3,800,000円

【冊子タイトル】「子育てひろば0123メッセージ～私の3.11」

【実施形態】

郵便事業株式会社からの年賀寄附金配分事業の配分金により、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会が実施し、全国の乳幼児家庭などを対象に、東日本大震災の体験記録集を制作した。

【事業内容】

東日本大震災では、乳幼児の在宅家庭は、保育園、幼稚園、行政ともつながりが薄く、リスクに脆弱な「寄る辺なき人々」として情報の入手も困難になりました。そして今なお、津波被害や原発事故等の影響もあり、困難な状況を抱えながら各地に避難されている方も多い現状です。

そこで、東日本大震災を通して全国各地の乳幼児家庭や子育て支援拠点の方々が経験されたこと、感じてこられたことを原稿や写真で投稿いただき、冊子として残すことで、今後の災害対策や被災地の復興施策において「0～6歳の乳幼児在宅家庭の支援」が抜け落ちることがないよう、社会全体や行政に生の声を届ける際のツールとして活用したいと考えました。応募対象は、被災地、被災者のみならず、全国の乳幼児家庭の方、また、子育て支援に関わる方々にも寄せていただきました。全国各地からお寄せいただいた150通の原稿の一つ一つが、この震災によって心を動かされた乳幼児子育て家庭に関わる方々の想いと貴重な記録でした。

ひろば全協では、発行した冊子を通して、今後の被災者支援や、災害対策における乳幼児家庭の支援体制構築にも活用されるよう周知につとめていきます。

●審査委員会（五十音順）

- ・おち とよこさん（ジャーナリスト・作家）
- ・柴田 愛子さん（りんごの木子どもクラブ 代表・絵本作家）
- ・新沢 としひこさん（シンガーソングライター）
- ・高野 優さん（育児漫画家・絵本作家）
- ・野口 比呂美（NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 副理事長）

●募集対象：「全国」の乳幼児家庭の方、子育て支援に関わる方など

●募集内容：募集A エッセイ：800～1,200字

募集B フォト：写真と200字以内のコメント

●募集方法：地域子育て支援拠点など約5300か所にチラシを配布。ひろば全協のホームページ等でも広報。

●選考の流れ：事務局選考にて約50点程度に選定。その後、委員に事前に送付。審査委員会で審査・決定。

●審査委員会日程：平成24年11月14日（水）

●掲載作品数：全43作品（エッセイ27・フォト16）

●発行日：平成25年2月20日

●部数：6,500部

●配布先：掲載者41名123冊（各3冊）・全国の拠点5,479か所（会員含）・個人/賛助会員77・ 関係者 約70冊・プレス46か所・被災地の県図書館等・内閣府、厚生労働省関係者

●掲載紙：河北新報・新潟日報

6. 情報・意見等の発信と収集活動

(1) 情報紙「子育てひろば」発行 年2回（平成24年7月：夏号、平成25年2月：冬号）
メールニュースやホームページをご覧いただけない方にも情報が行き届くよう、子育てひろばに関する情報紙を印刷。全会員に配布した。

(2) 国との意見交換等
平成24年12月20日（木）「子ども・子育て支援新制度」について、ひろば全協理事長の奥山、副理事長の坂本、理事の中橋、松田、事務局長の釣町の5名が出席し、内閣府、厚生労働省、文部科学省に対して意見を述べた。
●提出資料：「子ども・子育て支援新制度に関する関係者からの意見聴取会に提出したレジメ」
「子育て支援コーディネーターの役割と位置づけ <中間報告>」

(3) ホームページによる情報提供・PR
●26,950アクセス（平成24年4月1日～平成25年3月31日・2,246/月）
●「各地のひろば」の更新（会員の中でリンク可とした団体。情報交換、ネットワーク形成を促す。）
●研修セミナーの広報と開催地報告
●厚生労働省等からの情報提供書類の提供

(4) 会員向けメールニュース配信 年12回

(5) メーリングリストの運営
地域子育て支援拠点研修事業の開催地事務局や地域子育て支援拠点従事者のための基礎研修のファシリテーターの方々と情報共有をした。

(6) 電話相談対応
子育てひろばの立ち上げ・運営に関する相談への対応・情報提供等。

(7) マスコミ等やその他機関への情報提供事業
取材対応や情報提供を随時実施。

7. 後援事業・委員委嘱

<後援事業>

●晴れの国「おかやま子育てカレッジ」シンポジウム
◆日程：平成24年9月2日（日）
◆会場：岡山コンベンションセンター レセプションホール
◆主催：岡山県・財団法人自治総合センター

●第11回全国子育てひろば実践交流セミナーinにいがた
◆日程：平成24年11月10日（土）/11月11日（日）
◆会場：上越教育大学
◆主催：新潟県

●第10回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会&パレード

- ◆日程:平成24年11月23日(金・祝)
- ◆会場:日比谷公会堂
- ◆主催:特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

●子どもの虐待防止推進全国フォーラム

- ◆日程:平成24年11月24日(土)
- ◆会場:札幌コンベンションセンター
- ◆主催:厚生労働省

●子ども・子育て全国フォーラム

- ◆日程:平成25年2月12日(火)
- ◆会場:新霞が関ビルLB階「全社協灘尾ホール」
- ◆主催:社会福祉法人全国社会福祉協議会

●子ども・子育て支援新制度推進のためのフォーラム

- ◆日程:平成25年3月10日(日)
- ◆会場:日本消防会館(ニッショーホール)
- ◆主催:NPO法人子どもすこやかサポートネット

<委員委嘱>

- 東日本大震災中央子ども支援センター協議会 坂本純子
- 厚生労働省 社会保障審議会児童部会 奥山千鶴子
- 厚生労働省 児童虐待防止対策協議会 坂本純子
- 新たな子ども家庭福祉の推進基盤の形成に向けた取り組みに関する事業 検討委員会 松田妙子
- 第11回全国子育てひろば実践交流セミナーinにいがた 運営委員 奥山千鶴子
- 内閣府 家族や地域の大切さに関する作品コンクール審査委員 奥山千鶴子・松田妙子
- 「全国自治体の子育て支援施策に関する調査」調査分析委員会 奥山千鶴子

8. 子育てひろば総合補償制度の拡充 *自主事業(引き受け保険会社:東京海上日動火災保険株式会社)

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会の会員限定の補償制度で、任意加入である補償制度の更なる普及を目指した。また、事故申請の内容を確認し、各ひろばへの情報還元を行うなど、ひろばでの事故予防にも努めた。

- 対象となる会員:「子育てひろば」もしくは類似の事業を実施されている会員の方
- 保険期間:1年間 (平成24年4月1日午後4時~平成25年4月1日午後4時まで)
- 概要: (1) 賠償責任補償制度 (2) ひろば施設内参加者傷害見舞金制度
(3) 近隣活動・移動中傷害見舞金制度 (4) ひろば職員傷害見舞金制度

9. 会員管理

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

会員総数 920 (団体 844・個人 76)

前年より 76 (団体 66 個人 10) 増加

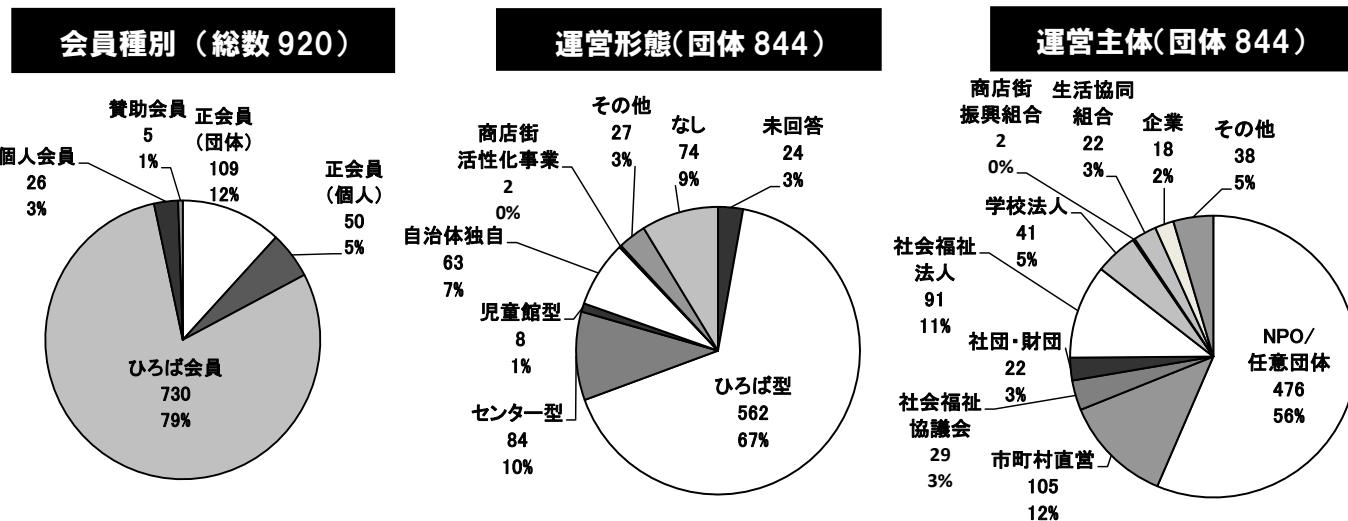
正会員（団体） 109

正会員（個人） 50

ひろば会員 730

個人会員 26

贊助會員 5



都道府県別会員数

	正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計
北海道	1	4	18	2		25	山梨県	1		12			13	鳥取県			1			1
青森県			4			4	静岡県	3		19			22	広島県	2		19	1		22
秋田県		1	3			4	愛知県	2	2	35			39	山口県			15	2		17
岩手県			5			5	岐阜県	2	1	7			10	愛媛県	3		9			12
宮城県	2		4	2	1	9	石川県	2		5			7	香川県	4	2	16			22
山形県	2	2	11	2		17	富山県							徳島県		1	2			3
福島県	1	1	11			13	福井県	3	1	8			12	高知県	1					1
新潟県	1	3	7	1		12	三重県	2		2			4	福岡県	1	3	28			32
栃木県			6	1		7	和歌山県	1		6	1		8	長崎県	1		16			17
茨城県	1		7			8	大阪府	16	4	108	2		130	熊本県	2	1	7			10
群馬県			4			4	京都府	1	1	20			22	佐賀県		1	2			3
埼玉県	12		30	4		46	滋賀県	1		13			14	大分県	1		5			6
千葉県	11	5	23			39	奈良県			43			43	宮崎県			6			6
東京都	14	7	71	6	3	101	兵庫県	2	2	23			27	鹿児島県	1		8	1	10	
神奈川県	8	5	45	1		59	岡山県		3	19	1		23	沖縄県	1		6			7
長野県	3		19			22	島根県			2			2	合計	109	50	730	26	5	920